

第6回 群馬県支部自然探索会報告

「名産品こんにゃくの里・だるまの里を訪ねて」

群馬県支部 支部長 深澤恵子 (S56 化学)

11月23日に群馬県支部自然探索会を実施しました。今回は「こんにゃくパーク」での手作り体験と「だるま工房」での絵付け体験という、自然探索とは少し違った企画になりましたが、群馬県はこんにゃく芋生産量全国の92%、だるまの生産も日本一であり、これらの名産品を通じて改めて、自然に根差した郷土の産業を垣間見ることができました。

群馬県平野部では、この時期は例年安定したお天気で、この日は晴れの特異日だったはずなのに天気は雨。しかし今年の企画は屋内の活動が主だったので、大きな影響もなく予定通り実施できました。

高崎駅10時集合で6名が2台の車に分かれ、30分ほどで甘楽町にあるテーマパーク「こんにゃくパーク」に到着しました。受付を済ませ、先に工場見学ですが、この日は祝日で稼働日ではなかったため、残念ながらラインは動いていませんでした。しかし映像や展示物などから、こんにゃくやゼリーの製造工程を知ることができ、こんにゃく芋に関する知識も増えました。その後「こんにゃくフルーツゼリー作り」体験をして、大きなカップにたっぷりのフルーツゼリーを持ち帰りました。

昼食は無料のこんにゃくバイキングで、田楽や煮物、刺身こんにゃくはもちろん、こんにゃくラーメン・うどん・焼きそば、唐揚げ・カレー・キムチなどなど、そしてデザートのマングォゼリー・黒蜜ゼリーの黄な粉がけまで、全～部ヘルシーこんにゃくで低カロリーです。



満腹のお腹を抱えながら次の目的地高崎豊岡八幡地区へ。ここは古くからの高崎だるまの里で、我が群馬県支部役員の飯野氏の工房もここにあります。

まず飯野さんから高崎だるま発祥の説明を受け、コレクションの各地のだるまや土人形を見せていただきました。そして、だるまの髭を描くか創作だるまを描くか決めました。



高崎だるまのお顔は、眉は鶴を模し髭は亀を模して鶴亀そろったたいへん縁起の良いお顔になっています。飯野さんより小筆を使って眉髭を描く方法を教わり、皆真剣にお顔を描きました。また創作だるまでは、真っ白なだるまが来年の干支の可愛いネズミだるまになりました。

それぞれが自分の作品に満足して、形を変えた今年の自然探索会は終了しました。この後は都合で参加できなかった役員も加わり、賑やかな反省会になりました。

